

平成30年度【保護者向け】 児童発達支援評価集計結果(鶉嶺の家)

このたび、厚生労働省で作成された児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービスガイドラインに

基づき、保護者向け・事業者向けのアンケートを実施し、結果を公表させていただきます。保護者の皆さんからのご意見は、より良いサービスの提供に向け大変参考になりました。また、事業者向けの(職員)アンケートを基に事業所としての改善点を見つけ、支援の質の向上に向け今後活かして参ります。お忙しい中ご協力頂きましてありがとうございました。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	改善・工夫
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1			・十分な広さ、死角が少なく本人にとって視覚でわかりやすい	・整理整頓、活動に合わせたスペース作りをしています
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5			1		保育士等、必要な資格・障害福祉サービス経験のある職員を配置しています
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(注1)になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4			2	・死角が少ないので本人に合っている	・生活の動線に配慮したり、写真や絵カードを使用しています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1		1	・消毒を行っているのが伺えるので清潔感有り。低年齢の子に合っている	・室内、遊具など毎日消毒しています
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(注2)が作成されているか	5			1	・保護者のニーズも取り入れて作成されていると思う	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			2		・ご家族に相談しながら行っています
	7	児童発達支援経計画に沿った支援が行われているか	5	1				
	8	活動プログラム(注3)が固定化し	6					

	ないよう工夫されているか						
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1		4		近所の小規模保育所や公園に遊びに行っています
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6					
12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（注4）等）が行われているか	3			3	・すぐ子どもに合わせて頂いている、実際成長している	
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6					・連絡帳や、送迎時になるべくお話しさせて頂いています
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4			2	・定期的な面談時に子どもの色々な発見を聞けてうれしい	
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1		3	・今は必要性を感じない	2ヶ月に1回子育てサロンを行っています
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6					
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を、子どもや保護者に対して発信されているか	5	1				・事業所のおたよりがあります ・法人のちば舎通信があります
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6					
等20	緊急時対応マニュアル、防犯マニ	4	1		1	・もう少し説明があればと思います	・マニュアルを見たい方はお声かけください

保護者への説明等

		ユアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか					・説明を受けた	・発生の想定等、ミーティング内でロールプレイ等行っています
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			4	・行っている、安心	年 2 回防災訓練を行っています。内 1 回は地域の消防団に来て頂いています
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	6					
	23	事業所の支援に満足しているか	5	1				

(注1) 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

(注2) 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

(注3) 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

(注4) 「ペアレントトレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。